

平成 24 年度 事業実施報告書

I 国際交流の活発化 2,963,859 円

1. 外国人の受入れ拡大事業 2,423,854 円

本県とのつながりが深く、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域について、当該地域との交流実績のある関係団体と連携しながら、民間レベルでのより一層の相互交流の拡大を図った。

(1) 北東アジア友好交流促進事業

①黒龍江省との友好交流促進事業

- 黒龍江大学への日本語教師派遣支援事業（県委託事業）
2人への助成を実施

②モンゴルとの技術交流事業

県や関係団体とともに実行委員会を設け、モンゴルとの技術交流事業を実施した。

○モンゴル東ゴビ沙漠緑化推進事業

- ・目的：東ゴビ砂漠に位置するドルノゴビ県の中心であるサインシャンド周辺において、新潟県の有する技術をもって砂漠地緑化に寄与する。
- ・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課・林政課・森林研究所）、(公財)環日本海経済研究所、(財)新潟県国際交流協会
- ・新潟県側の専門家派遣（8月18日（土）～8月23日（木））

○モンゴル国中小企業技術協力事業

- ・目的：モンゴル国における製造業を中心とする技術力の向上及び地域の経済発展に貢献することを目的に、新潟県の企業等による技術協力を行う。
- ・実行委員会構成団体：NPO 法人新潟県対外科学技術交流協会、新潟県（国際課）、(公財)環日本海経済研究所、(財)新潟県国際交流協会
- ・新潟県側の専門家派遣（5月24日（木）～5月29日（火）、7月25日（水）～7月29日（日））
- ・モンゴルからの訪問団受入（12月9日（日）～12月15日（土））



(2) 留学生就職支援セミナー

留学生の県内企業への就職を促進するため、日本での就職活動に必要な情報の提供や、留学生と企業との意見交換を実施した。

- ・期日及び会場：9月29日（土）新潟市（万代島ビル NICO プラザ会議室）

- ・主 催：(財)新潟県国際交流協会、
にいがたインターンシップ推進協議会、
新潟地域留学生等交流推進会議
- ・共 催：新潟県、日本貿易振興機構新潟貿易情
報センター
- ・協 力：(公財)環日本海経済研究所、(社)新潟
県商工会議所連合会、
(一社)新潟県経営者協会、新潟経済同友会
- ・参加者：留学生(50名)、企業関係者(19名)、大学等(9名)等、101名
- ・内 容：



第1部 講演「留学生の採用と活用について」

講 師 (株)日立製作所 営業統括本部 総務本部長 堀内 智 氏

第2部：「留学生OBによる意見発表」

「留学生と企業との意見交換」

○コーディネーター

伊藤 勝 氏 (にいがたインターンシップ推進協議会専務理事)

○ファシリテーター

阿波村 稔 氏 (新潟大学国際センター長・教授)

西條 秀俊 氏 (新潟大学 キャリアセンター 准教授)

詹 秀娟 氏 (新潟産業大学 教授)

牧口 哲也 氏 (第四銀行 国際部 海外ビジネス支援室長)

穆 堯芊 氏 (環日本海経済研究所 経済交流部兼調査研究部研究員)

杉島 章夫 氏 (新潟大学 キャリアセンター キャリア支援課長)

中村 直文 氏 (にいがたインターンシップ推進協議会 コーディネーター)

2. アジアを知る事業 461,528円

(1) 国際理解講座

県が重点的に交流を進めている北東アジア地域への関心を高め、海外渡航の増加につなげるため、大学などの協力を得ながら、一般県民向けの講座を県内6地区、全11回開催した。

ア 新潟市(新潟大学駅南キャンパス

「ときめいと」)

①「民主化後のモンゴル」

新潟県モンゴル友好親善協会

会長 木村毅 氏

日時：10月20日(土)10:00～11:30

参加人数：30人



②「現代インドネシアの地方社会とグローバル化」

新潟大学 教授 中村潔 氏

日時：11月17日（土）10：00～11：30 参加人数：19人

③「インド社会における宗教の現在」

新潟国際情報大学 講師 松尾瑞穂 氏

日時：12月2日（日）10：00～11：30 参加人数：18人

イ 三条市（燕三条地場産業振興センターリサーチコア）

①「最新のロシア社会・ビジネスの状況」

新潟県ロシア交流推進担当参与・元在新潟ロシア連邦総領事

ワシーリー・クラコフ 氏

日時：11月15日（木）19：00～20：30 参加人数：11人

②「中国経済・社会をどう見るか」

（公財）環日本海経済研究所調査研究部 研究主任 朱永浩 氏

日時：11月22日（木）19：00～20：30 参加人数：10人

ウ 柏崎市（柏崎市市民プラザ）

①「インドネシアの魅力」

インドネシア友の会 アグネスリナ 氏、スバギオカストリア 氏

日時：10月26日（金）19：00～20：30 参加人数10人

②「フィリピンのカソリシズムとアジア主義」

新潟工科大学 教授 判澤純太 氏

日時：11月9日（金）19：00～20：30 参加人数10人

エ 南魚沼市（国際大学 松下図書情報センター）

①「中国の海洋戦略と尖閣問題」

国際大学研究所 教授 信田智人 氏

日時：10月26日（金）18：30～20：00 参加人数：91人

オ 上越市（上越市市民プラザ）

①「中国文化財新事情－遺跡と博物館－」

上越教育大学 大学院教授 川村知行 氏

日時：11月10日（土）10：30～12：00 参加人数：31人

②「モンゴルの学校教育－ウランバートル市での歴史授業参観を通して－」

上越教育大学 大学院准教授 茨木智志 氏

日時：11月18日（日）13：30～15：00 参加人数：21人

カ 佐渡市（ホテルニュー桂）

①「台湾社会の現状と台湾人観光客の受入」

新潟産業大学 教授 詹秀娟 氏

日時：12月11日（火）13：00～14：30 参加人数：20人

(2) 高等学校等海外修学・研修旅行説明会

県内の公立・私立高校や専門学校の校長等を対象に、県が重点的に交流を進めている北東アジア地域を中心とした修学旅行説明会を開催した。

- ・期日及び会場：2月14日（木）新潟ユニゾンプラザ
- ・参加者：高等学校等（28校）、韓国観光公社、中国東方航空、全日空等、計60名

3. 受け皿整備事業 78,477円

(1) ホストファミリー整備事業

海外からの来県者のホームステイ先の確保・充実を図るため、ホストファミリー実践講座及びホームステイ体験を実施した。

①ホストファミリー実践講座

ア 新潟会場

- ・期日及び会場：8月25日（土）
新潟県国際交流協会研修室
- ・参加者：日本人11名、
外国人5名（ALT、留学生、CIR）



イ 長岡会場

- ・期日及び会場：9月2日（日）まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：日本人4名、外国人5名（ALT、留学生、CIR）

②ホームステイ実施

ALT（外国語指導助手）、留学生12人を対象にホームステイを実施

- ・期日：11月10日（土）～11日（日）、11月17日（土）～18日（日）
- ・参加者：12家庭

II 国際協力活動の支援 5,493,055 円

4. 新潟・国際協力ふれあい基金 5,493,055 円

(1) 支援助成 (参考資料1頁参照)

「新潟・国際協力ふれあい基金」の運用益をもとに、海外において県内NGO又は個人が行う人道援助活動や人材育成活動等に対し助成金を交付した。

・助成実績：6件 4,720,000円

(2) 基金運営

① 審査委員会の運営

ふれあい基金事業の審査等を行う審査委員会を開催した。(参加委員：6名)

・期日：12月6日(木)

・会場：新潟県国際交流協会研修室

② 募金活動 (参考資料2頁参照)

広く県民からふれあい基金への寄附を募るとともにふれあい基金事業の周知を図るため、市町村役場、県内各地の日帰り温泉施設、及び宿泊施設等に常設している募金箱により、募金活動を実施した。

③ 募金実績

(単位：円)

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
募金額	176,579	244,167	234,625	159,956	137,714
累計	14,403,445	14,647,612	14,882,237	15,042,193	15,179,907

Ⅲ 多文化共生の支援 40,642,156 円

5. 国際理解推進事業 3,507,468 円

(1) プレゼンテーションコンテスト

学校での教科、「総合的な学習の時間」及びクラブ活動、又は地域での活動などにおける国際理解をテーマとした学習の成果に関するプレゼンテーションコンテストを行った。

ア プレゼンテーションコンテスト

- ・参加団体：「中学生部門」6チーム
「高校生部門」8チーム
- ・期日：12月15日(土)
- ・会場：朱鷺メッセ
- ・最優秀賞：

〈中学生部門〉新潟市立早通中学校

「韓中日の友好関係をみんなで考えてみませんか」

〈高校生部門〉雄大と愉快的仲間たち(長岡市)

「こんな英語の授業を受けてみたい」



イ スタディツアーの実施

各部門最優秀賞チームを韓国スタディツアーに派遣した。

- ・派遣期間：3月28日(木)～3月31日(日)
- ・派遣先：韓国・ソウル市
- ・参加者：新潟市立早通中学校 生徒5名 指導者1名
雄大と愉快的仲間たち 生徒7名 指導者1名
- ・活動内容：ソウル市内見学、水落中学校授業参加と交流会、新潟県ソウル事務所訪問、英語村1泊体験など

(2) 協会広報誌

- ・発行時期：7月(第12号)、1月(第13号)
- ・配付先：県内の高校等134校、大学等25校、図書館、市町村・団体等
計15,000部

(3) 国際理解教育推進協議会

県内の国際理解教育活動推進と協議会主催事業の周知を目的に、教育関係者等を対象とした参加体験型「国際理解教育セミナー」を開催した。

また、小・中・高・大学生及び教員を対象とする全県的な事業を推進するため、行政や関係機関等から成る推進協議会を開催した。

ア 国際理解教育セミナー

- ・日時：7月4日(水)14:00～16:30



- ・会場：新潟県自治会館 201 会議室
- ・参加者：45 名
- ・内容：講演「これからの国際理解教育」：新潟国際情報大学 佐々木寛教授
ワークショップ体験「貿易ゲーム」：学生インストラクター
国際理解教育事業説明(インストラクター事業、プレゼンテーションコンテスト)

イ 国際理解教育推進協議会

- ・期日及び会場：2月25日(月) 朱鷺メッセ 305 小会議室
- ・参加者：16 名
- ・議 題：副会長の選出について、国際理解教育プレゼンテーションコンテストについて、国際交流インストラクター養成事業について、国際理解教育推進重点校設置事業について、各団体国際理解教育事業紹介

6. 在住外国人支援事業 2,045,979 円

地域住民の一人として在住外国人が安心して暮らすことができるよう、相談事業及び関連事業を実施した。

(1) 相談事業 (多言語生活相談 WELCOME へ委託)

○相談実績(参考資料4頁参照)

- ・対応言語：5カ国語(英語、中国語、カ語、タ語、ド語)
- ・相談件数：延べ990件(窓口相談124件、電話相談866件)
- ・相談内容：結婚・離婚、在留手続き、福祉・DV、暮らしなど

(2) 相談・通訳員育成(民間団体へ委託)

人材が不足している少数言語の相談・通訳員を新たに育成する研修等を平成20～23年度に引き続き、実績のある民間団体に委託して実施した。

- ・委託先：(社)上越国際交流協会、多言語生活相談 WELCOME

(3) 相談関係機関との連携

ア 1日入管インフォメーションセンター

毎年行う東京入国管理局の1日入管インフォメーションセンターの開設に合わせ、外国人対応ができるよう、多言語生活相談員を通訳として配置。

- ・日 時：6月7日(木) 13:00～15:00
- ・会 場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：11件

イ 新しい在留管理制度の説明

平成24年7月9日からの「新しい在留管理制度」の導入に対応するため、東京入国管理局と連携して、県内3箇所で開催した。

- ・新潟市：6月7日(木) 参加者44名
- ・上越市：6月8日(金) 参加者30名

- ・長岡市：6月26日（火） 参加者 30名

ウ 行政書士による外国人無料相談会等

新潟県行政書士会と連携し、行政書士による専門的な相談を、多言語通訳を交え、無料で提供した。

(ア) 県行政書士会新潟県支部

- ・日 時：10月20日（土）13：00～16：00
- ・会 場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：5件

(イ) 県行政書士会

- ・日 時：12月11日（火）13：00～16：00
- ・会 場：新潟県国際交流協会研修室
- ・相談件数：12件

エ 生活相談関係機関連絡会議

各機関が行う、外国人に関する業務等について、状況を確認するとともに、多言語生活相談の実施等、連携事業を検討した。

- ・日 時：3月7日（木）13：30～15：30
- ・会 場：新潟万代島ビル6階会議室
- ・参加者：県弁護士会、県行政書士会、東京出入国管理局新潟出張所、法テラス新潟、市町村国際交流協会等 16名

(4) 外国籍児童生徒就学支援

上・中・下越地区において、市町村地域国際交流協会と連携し、地域懇談会を実施した。また、地域懇談会等で使用した多言語による学校説明資料（9言語：日・英・中・ロシア・インドネシア・タイ・タガログ・スペイン・ポルトガル）を更新、HPに掲載した。

①上越地区「進学ガイダンス～中学校生活と高校進学～」

- ・期日及び会場：8月18日（土） 上越市市民プラザ
- ・主 催：(社)上越国際交流協会
(財)新潟県国際交流協会
- ・共 催：上越市教育委員会
- ・参加者：5カ国（中国、フィリピン、韓国、ペルー、日本）21名



上越地区：地域懇談会

②中越地区「日本の学校 進学ガイダンス

～高校への進学や中学校での勉強についての話～

- ・期日及び会場：7月20日（金） 柏崎市市民プラザ
- ・主 催：(公財)柏崎地域国際化協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・共 催：柏崎市教育委員会
- ・参加者：3カ国（中国、韓国、インドネシア）11名

③下越地区「日本の学校を知ろう！」セミナー

- ・期日及び会場：11月17日（土） クロスパスにいがた

- ・主 催：(公財)新潟市国際交流協会、(財)新潟県国際交流協会
- ・後 援：新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟市
- ・参加者：4か国（中国，ガーナ，フィリピン，パキスタン）9名

7. 留学生支援事業 35,088,709

県内の大学等で学ぶ外国人留学生に対する次の支援を行った。

(1) 国際理解講座講師

新潟県国際交流プラザで行う国際理解講座の講師として、自国の文化、歴史、自然等を小・中・高校生に紹介した。

- ・講座実施数 4回
(小：1回、中：2回、高：1回)



(2) 県内大学院グローバル化促進事業

将来の日本と本国とのビジネス交流の架け橋となる人材を育成し、新潟を拠点とした国際的な人的ネットワーク形成と「選ばれる新潟」を推進するため、アジア地域からの私費留学生に対する奨学金給付と大学院が行う留学生募集活動に対する助成を行った。

①外国人私費留学生奨学金事業

県内大学院に入学するアジア地域からの留学生に対し、入学金と授業料のそれぞれ1/2以内の奨学金を交付した。

○助成実績：

- ・平成24年度認定分（入学金・授業料）
国際大学10名、新潟大学6名、
事業創造大学院大学9名
計25名 15,703,400円
- ・平成23年度認定分（授業料）
国際大学12名、新潟大学2名、
事業創造大学院大学3名、
長岡技術科学大学1名 計18名 12,953,700円



②海外留学生募集活動支援事業

県内大学院がアジア地域で行う留学生募集活動に対し、対象経費の1/2以内を助成した。

○助成実績：新潟大学、国際大学、事業創造大学院大学 4,471,000円

Ⅳの 1 基盤強化（民間活動活発化） 3,205,877 円

8. 民間団体助成事業 2,100,297 円

（1）国際化推進活動助成金の交付（参考資料 6 頁参照）

民間団体等が実施する国際交流活動を支援し、地域の国際交流活動の促進を図るため助成金を交付した。

- ・助成実績：民間団体等 19 団体（申請団体 31 団体、うち不採用 12 団体、助成決定後中止等 3 団体） 2,095,689 円
- ・事業例：在住外国人支援、国際協力体験ツアー、アフリカ医療支援、等

（2）研修室等の貸出

民間団体の活動促進のため国際交流プラザや研修室の貸出しを行った。

- ・利用時間：平日の原則として 14 時～21 時、土日・祝日の 9 時～21 時
- ・利用件数：46 件（24 年 4 月～25 年 3 月）

9. 民間団体ネットワーク構築事業 85,020 円

（1）国際交流連絡会議

県内 3 地域において、市町村・民間団体等と情報・意見交換を行う会議を開催した。

○長岡会場

- ・期日及び会場：4 月 23 日（月） まちなかキャンパス長岡
- ・参加者：17 団体、24 名

○上越会場

- ・期日及び会場：4 月 25 日（水） 上越市市民プラザ
- ・参加者：5 団体、10 名

○新潟会場

- ・期日及び会場：4 月 26 日（木） 朱鷺メッセ
- ・参加者：34 団体、43 名

10. 在外県人会活動支援 1,020,560 円

ブラジル、アルゼンチン、ホノルル、ペルー等の各新潟県人会及び新潟県海外移住家族会に対してに対して、現地での活動を支援するため助成金を交付した。

団体名	助成額（円）
ブラジル県人会	450,000
ホノルル県人会	150,000
アルゼンチン県人会	150,000
ペルー県人会	150,000
新潟県海外移住協会	100,000
合計	1,000,000

Ⅳの2 基盤強化（人材育成） 1,482,320 円

11. 人材育成 1,482,320 円

民間団体等の人材の育成と次世代を担う若者の国際理解を深めていくための支援を行った。

（1）NGO スタッフ育成講座

国際交流・協力等を目的に設立された既存の NGO や、これから NGO 活動を始めたい人を対象に研修会を実施した。

- ・期日及び会場：2月24日（日）
クロスパルにいがた
- ・テーマ：NGO と行政・企業との協働の可能性を探る
- ・講師：（特活）ACE 代表 岩附由香氏
（特活）新潟 NPO 協会 代表理事 金子洋二氏
- ・参加者：県・市町村、NGO 団体、個人等 31 名



（2）ボランティアバンクの運営

国際交流に関する事業へのボランティア派遣や研修会の実施など、ボランティアバンクの更なる活性化を図った。

①通訳・翻訳ボランティア、アースサポーター（イベント運営ボランティア）の活用

- ・通訳・翻訳ボランティア登録者数 133 名
（英語：90 名、中国語：13 名、韓国・朝鮮語：18 名、ロシア語、スペイン語：各 4 名、その他の言語：4 名）
 - ・アースサポーター登録者数 56 名
 - ・イベント等への延べ紹介数 55 名
- ※H25.3.31 現在

②語学講座

新潟県国際交流協会研修室等を利用して、通訳・翻訳ボランティア、一般県民を対象とする英語、中国語、韓国語の講座及びボランティア交流会を実施した。

- 英語①：6月30日（土）参加者 21 名
- 英語②：8月11日（土）参加者 27 名
- 中国語：8月11日（土）参加者 9 名
- 韓国語：8月11日（土）参加者 4 名
- ボランティア交流会：8月11日（土）参加者 48 名

(3) 国際交流インストラクター養成事業

(新潟国際情報大学・敬和学園大学・新潟県立大学・上越教育大学連携事業)
大学生(69名、情報大:25、敬和大:14、新潟県立大:16、上越教育大:14)
をインストラクターに養成し、小・中・高校生などを対象に国際社会への関心と
学習意欲を高めるためのワークショップを実施した。

- ・派遣実績: 県内小・中・高等学校 22校
(小:11、中:6、高:5)、2施設
- ・テーマ: 「世界の現実」「世界の不平等」
「異文化理解」



(4) 国際理解教育推進重点校設置事業

県内中学校・高校における国際理解教育の推進・意識啓発のため、国際理解教育に熱心に取り組んでいる中学校・高校の中から7校を選定し、年間を通して、各種国際理解教育メニューを実施・評価していただいた。

- 実施校: 中学3 (小千谷、上越教育大附属、羽茂)、中等教育学校1 (村上)
高校3 (新潟商業、国際情報、長岡工専)

(5) 医療支援事業

平成21年度に作成した「多言語版医療窓口対応シート」(英語、中国語、韓国語、ロシア語、ポルトガル語、タガログ語、インドネシア語、やさしい日本語)を使い、医療従事者向けの外国人患者対応研修会を上越市と新潟市で開催した。

「医療従事者向け外国人患者対応研修会」

期日及び会場:

①上越市

平成25年1月26日(土)

上越市市民プラザ第5会議室

②新潟市

平成25年1月27日(日)

クロスパルにいがた405講座室

講師: (特活)多文化共生センターきょうと

医療通訳コーディネーター、看護師、保健師 高嶋 愛里 氏

参加者: 上越会場12名、新潟会場23名



(6) 災害多言語支援ボランティア育成事業

外国語ができる日本人または日本語ができる外国人の中から、災害時に多言語支援ボランティアとして被災地の外国籍住民等を支援できる人材を育成するための研修を長岡市で実施した。

期日及び会場: 10月28日(日)長岡防災シビックコア地区

内容: ①災害多言語支援ボランティアの活動について

②避難所での通訳翻訳ロールプレイ

③行政職員との合同シミュレーション

講師：（公財）柏崎地域国際化協会事務局長 清水 由美子 氏

参加者：23名

Ⅳの3 基盤強化（広報情報提供） 1,467,905円

12. 広報ライブラリー運営事業 554,710円

県内団体や一般県民等に、国際交流・国際協力に関する情報や当協会の事業等について情報を提供した。

（1）PR記事掲載

朱鷺メッセのフリーペーパー「トッときガイド」掲載（年1回）

（2）年次報告書発行

平成23年度の事業についてまとめた年次報告書を作成し、関係機関等に配布した。

（3）プラザ・ライブラリー運営

各種情報資料（図書、ビデオ、テープ、雑誌、新聞、各種団体刊行物）を整備し、県民の利用に供した。

① 蔵書等の状況（平成25年3月末現在）

- ・図書 3,819冊
- ・各種団体発行物

（財）自治体国際化協会、他都道府県・政令指定都市国際交流協会が作成した調査、会議、フォーラム等の報告書等

- ・ビデオ 533本、DVD 53本、CD 134本、CD-ROM 8本
- 開発途上地域でのNGO活動を伝える映像資料等

- ・雑誌 31誌
- ・新聞 日本語 2紙（新潟日報、日経）
外国語 4紙（イェベスチャー、ジャパントイムズ、人民日報、東亜日報）
- ・その他の資料 県内外のNGO、全国の国際交流協会機関誌
語学学習用テープ・教材（外国語、日本語）等

②年間貸出実績（貸出しは賛助会員のみ）

- ・図書 13冊、CD 1枚、DVD 1枚

13. IT活用促進事業 834,300円

平成19年度に改訂したホームページの機能を生かし、情報提供の充実を図った。

また、協会ニュース、関連団体の県内外イベント情報などを定期的にメールマガジンとして配信した。（425件）

14. 賛助会員募集 66,925 円

(1) 賛助会員数の推移

(単位：会員数)

	20 年度末	21 年度末	22 年度末	23 年度末	24 年度末
個人	31	28	26	35	30
団体	71	69	69	60	53
計	102	97	95	95	83

(2) 賛助会員へのサービス

賛助会員向けに主に次のサービスを実施した。

個人会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社利用割引 ・レストラン等利用割引 ・朱鷺メッセ関係施設等利用割引 (県立万代島美術館割引券利用件数 23 件) (県立近代美術館割引券利用件数 1 件)
団体会員のみ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修室の貸出 (46 件) ・国際化推進活動助成金の交付 (19 団体、総額 2,095,689 円) ・印刷機・紙折機の利用
個人・団体 共通	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント案内等の送付 ・国際情報ライブラリーの図書 (13 冊)、CD (1 枚)、 DVD (1 枚) ふれあい地球人ボックス (18 件)、国旗 (79 件) の貸 出 ・インターネット用パソコンの利用 ・協会イベント情報等のメール提供

15. 国旗等貸出 11,970 円

国際交流活動を行う賛助会員や諸団体に対して、世界各国の国旗や地球人ボックス (民族衣装、グッズなど) の貸出しを行った。

貸出実績：国旗 37 団体・79 件、地球人ボックス 10 団体・18 件